

■ Excel のマクロを有効にする設定

※重要：Excel のバージョンや環境によって画面が異なる場合があります。本ソフトは Excel のマクロ（VBA）を使用して動作しますが、マクロ設定画面は Excel のバージョン、Windows の設定、企業 PC のセキュリティポリシーなどにより表示や項目名が異なることがあります。

本手順書では一般的な手順を説明していますが、もし画面が本書と一致しない場合は、「Excel マクロ 有効化」などで検索し、お使いの環境に合った最新の設定方法をご確認ください。

本ソフトは VBA マクロ を使用して動作します。そのため、Excel 側でマクロを有効にする設定が必要です。

1. ファイルを開いたときに「セキュリティの警告」が出る場合

Excel 上部に黄色いバーで

「セキュリティの警告：マクロが無効にされました」

と表示されることがあります。

その場合は：

✓ 「コンテンツの有効化」をクリック

これだけでマクロが使えるようになります。

2. 「コンテンツの有効化」が出てこない場合（信頼センターの設定）

環境によっては、Excel がマクロを完全にブロックしていることがあります。

その場合は次の設定を確認してください。

1. ファイル → オプション
2. 左メニューから 「セキュリティ センター」
3. 「セキュリティ センターの設定」 をクリック
4. 左メニューから 「マクロの設定」
5. 次の項目を選択：

✓ 推奨設定

「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」

→ これで黄色いバーが表示され、ユーザーが自分で「コンテンツの有効化」を押せるようになります。

6. Excel を再起動

3. どうしても動かない場合（上級者向け）

以下の設定を ON にすると動く場合があります。

✓ 「VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する」

ただし、これはセキュリティ的に強い設定なので、必要な場合のみ有効にしてください。

4. 特定のフォルダを「信頼できる場所」にする方法（任意）

毎回「コンテンツの有効化」を押したくない場合は、ソフトを置いているフォルダを「信頼できる場所」に登録できます。

1. ファイル → オプション
2. セキュリティ センター → セキュリティ センターの設定
3. 「信頼できる場所」
4. 「新しい場所の追加」
5. ソフトを置いているフォルダを選択

5. ダウンロードしたファイルがブロックされている場合（重要）

インターネットからダウンロードした Excel ファイルは、Windows により自動的にブロックされている場合があります。この状態では、Excel がマクロを完全に無効化し、黄色い警告バーも表示されません。

その場合は、次の手順でブロックを解除してください。

1. Excel ファイルを右クリック
2. 「プロパティ」を開く
3. 下部に「セキュリティ：このファイルは他のコンピューターから取得したものです」と表示されている場合は「許可する（ブロック解除）」にチェックを入れる
4. 「OK」をクリック
5. Excel を再起動してファイルを開き直す

これでマクロが有効化できるようになります。

※ Excel のバージョンや環境によって、画面表示や設定項目の場所が異なる場合があります。もし本手順書の説明と画面が一致しない場合は、「Excel マクロ 有効化」などで検索してお使いの環境に合った設定方法をご確認ください。